

福祉職のあり方及び 人材育成方針



大田区では、福祉職が福祉行政の中心的な役割を担うことができるようになることを目指し、福祉職に特化した人材育成方針を策定しています。

大田区福祉職のあるべき姿や行政福祉職としてのジョブローテーションイメージを示すことで、福祉職自らが、自身のキャリアプランを描き、スキルアップやキャリアアップに取り組める環境を整備しています。



福祉職人材確保・育成部会

大田区では、福祉職を中心メンバーとするプロジェクトチーム（部会）を設置して、「研修班」と「広報班」に分かれて活動しています。

研修班では、「福祉職のあり方及び人材育成方針」に基づき、区福祉職を対象に、研修のテーマ企画や当日の運営を行っています♪

広報班では、このパンフレットを作成したり、主に大学生を対象とした「福祉職オンラインセミナー」「福祉職場見学ツアー」を企画・運営したりしています★



大田区役所

福祉部福祉管理課調整担当（計画）

TEL：03-5744-1721

住所：東京都大田区蒲田5-13-14



©大田区

大田区志望度  +

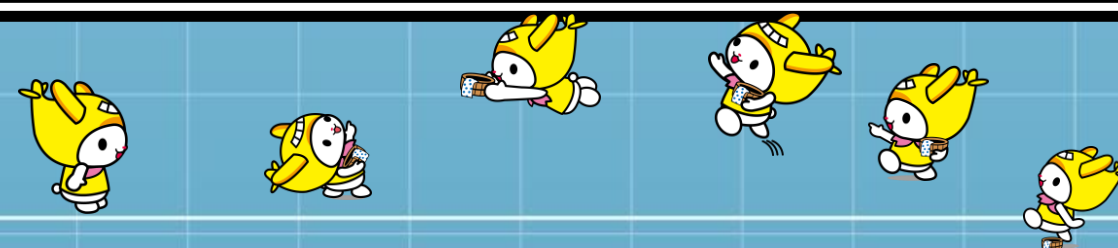
 ×2025

2025 大田区福祉職案内

あなた

▶ みる 確認 保存 check

大田区の福祉職を知ることが
できる手引書（マニュアル？）
を手に入れた…………… ▼



SDGs
未来都市
大田区

東京都の東側の23の区から構成される区域……、それが所謂、東京「特別区」じゃ。そのうち、羽田空港があることで知られているのが、この大田区なのじゃ。特別区の中でも、大田区は一番面積が広く、大まかに4つの地域に分かれておるぞい。地域ごとに特徴があるから、「東京の縮図」などとも言われているのじゃ。いろんな部署が区内各所（＝庁舎）に配置されておるが、福祉職が配属される職場をピックアップして見てみるぞよ！

NEXT
各職場の先輩から、それぞれ話を聞いてみよう！

→ ページをめくる

都心・郊外・地方都市・海外へアクセスしやすく、通勤も便利

大田区福祉職活躍MAP

※人数は、令和7月4月1日現在の人数です。
※記載の職場は、主な配属先です。
記載されている職場以外に配属される可能性もあります。

I 本庁舎

★ 福祉管理課 4人

重層的支援体制整備事業に関する全体調整や、福祉人材の確保・育成・定着に関する事業などを行っています。

★ 高齢福祉課 2人

高齢者見守りネットワーク事業や認知症支援、地域包括支援センターの運営・調整などを行っています。

★ 介護保険課 2人

介護保険に関する要介護認定調査のほか、介護サービス事業者への支援などを行っています。

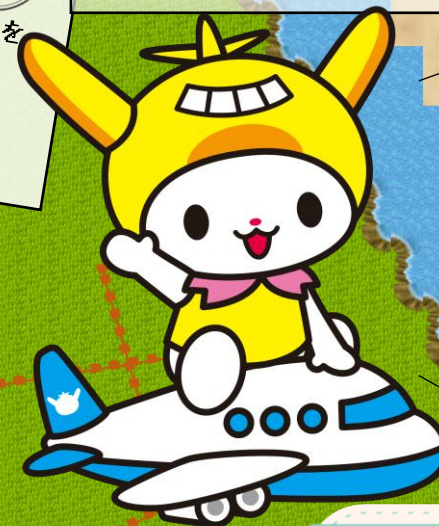
★ 障害福祉課 7人

障害福祉計画の策定や障害福祉サービス等に関すること、障害認定に係る調整などを行っています。

注目ポイント

プライベートも充実しよう！
GWや夏休み、年末年始、観光のオフシーズンを狙って有給取得など……
羽田空港へのアクセスが抜群なので、旅行にも行きやすい♪
プライベートも充実させてリフレッシュ！

時間休※をとって、職場からそのまま旅行やライブへ行く人もいるびよん♪



● 時間休
時間休（じかんきゅう）とは…

時間単位の有給休暇の略称。年次有給休暇を1時間単位で取得できるため、「午前休み・午後休み」だけでなく、「11時から出勤、15時からお休み」などの、フレキシブルなお休みも可能です♪

III 施設

A 障がい者総合サポートセンター 13人

障がいのある方の生活を総合的に支援する拠点として、相談支援部門や居住支援部門、就労支援部門、発達障がい児支援部門などがあります。

B 上池台障害者福祉会館 39人

区立区営の多機能型の施設です。障害者総合支援法に基づく、生活介護や就労継続支援B型、特定相談支援事業などを行っています。

C 志茂田福祉センター 8人

自立訓練（機能訓練）や、大田区内における障害者支援施設の自主生産品販売企画・連絡会の運営などを行っています。

D 子ども家庭支援センター 17人

子どもと家庭に関する総合相談窓口です。18歳未満の子どもとその家庭に関するあらゆる相談に応じ、要保護児童、要支援児童の支援を行います。

♪ 子ども家庭センター 1人

令和6年（2024年）の10月に新規オープンしました！

（仮称）大田区子ども家庭総合支援センターの開設についてもあわせて確認しよう！



糞谷・羽田地域庁舎



★ 生活福祉課 79人

生活保護法等に基づき、主に生活保護を受給している世帯への個別支援（ケースワーク）を行っています。



調布地域庁舎

★ 地域福祉課 52人

障がい者や高齢者の個別支援（ケースワーク）や、重層的支援体制整備事業の多機関協働事業（重層的支援会議の運営など）を行っています。



蒲田地域庁舎



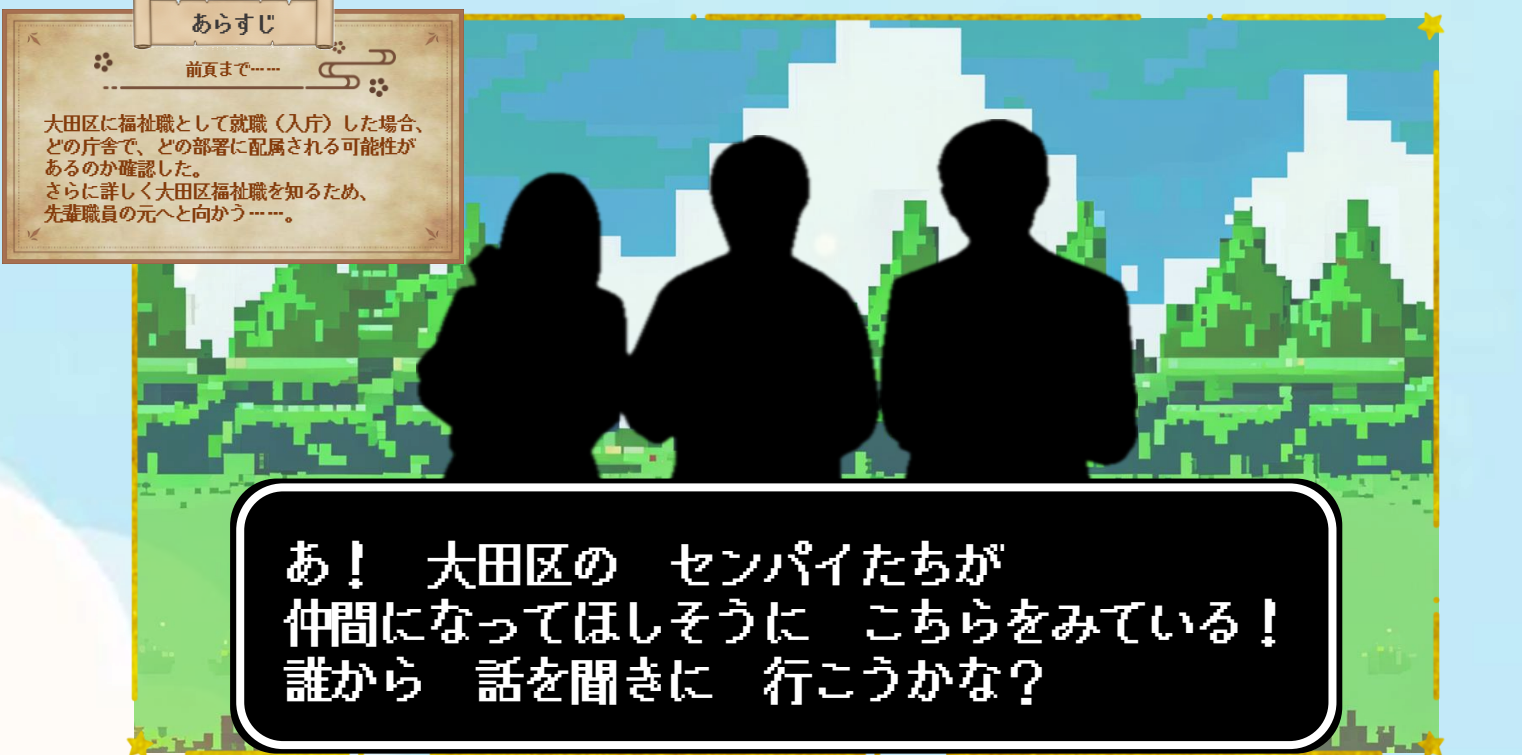
大森地域庁舎

地域庁舎とは
大田区は面積が大きいので、4つのエリアごとに地域庁舎を設置し、区民に身近なサービスを提供しています。各地域庁舎には、それぞれ地域福祉課と生活福祉課があります。

II 地域庁舎

各職場の先輩から、それぞれ話を聞いてみよう！





名前：山根さん
所属：大森生活福祉課
採用年度：令和6年度



大田区を選んだ理由は？
自宅（区外）からの距離がちょうどよく、仕事とプライベートのオン・オフがしやすいと感じました。自分の性格的に、職場と住まいが同じ地域になると、「ちょっと疲れちゃいそうだな」と思って。大田区は電車でもどこでも出やすいので、私はよく仕事帰りに夢の国（千葉方面）へ行っています♪

▶ やりがいについて

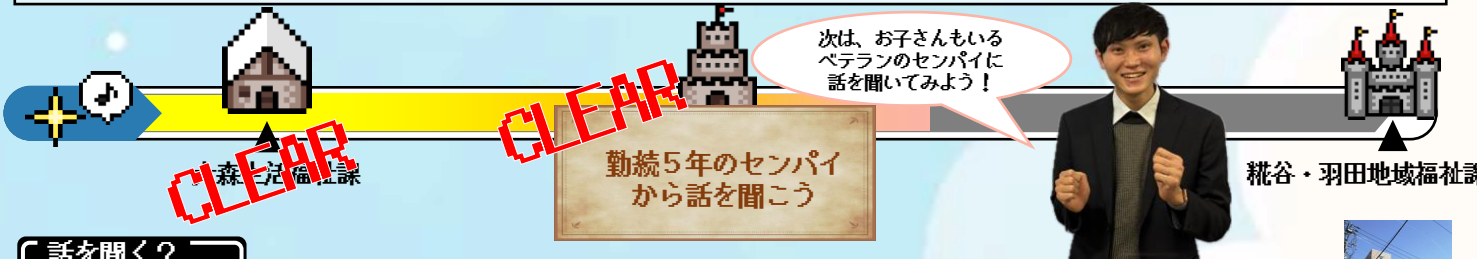
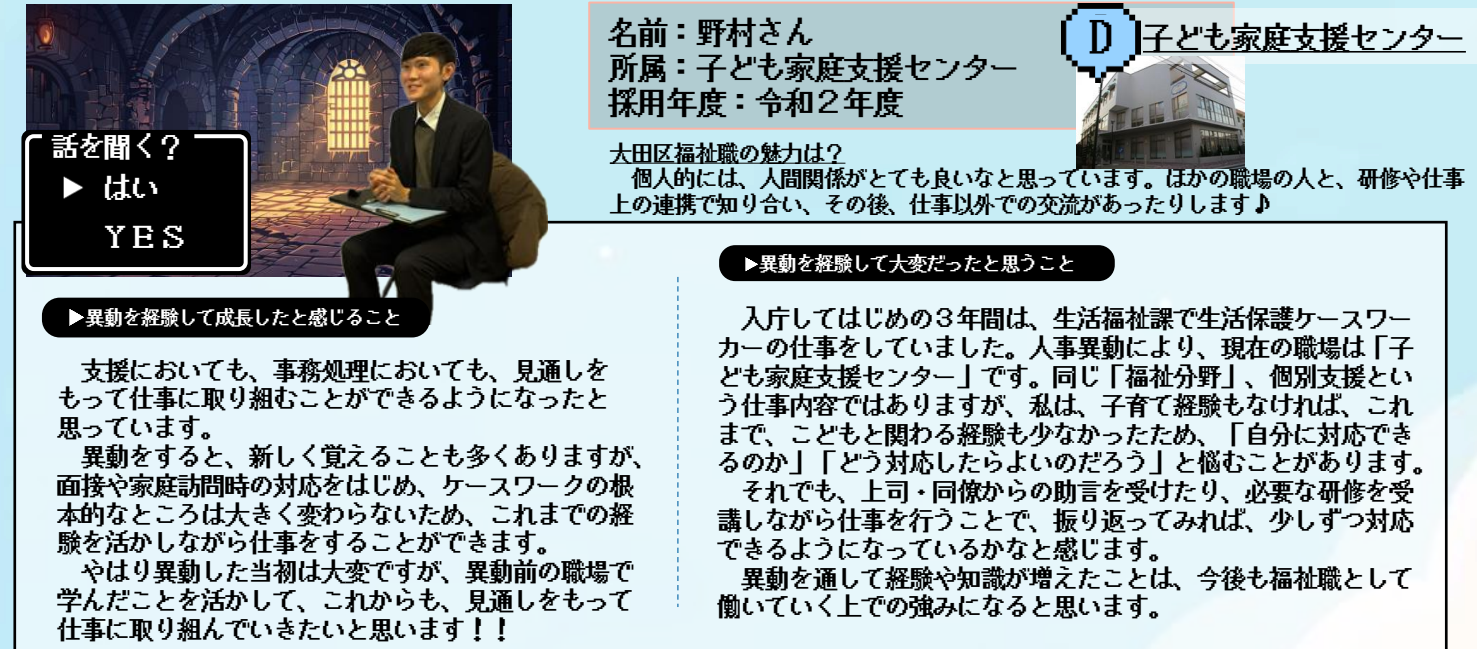
生活保護を受給しているご本人やご家族と関わる中で、「〇〇したいな」、「こんな生活を送りたい」というお話をすることがあるんです。
できる限り希望される生活に近づく支援ができたり、望む生活に少しでも進んだ時には、関わることでできて良かったと感じます。
仕事をしていると「大変だな」と感じることもあります。感謝の言葉をいただけたときには、とても嬉しく、また、達成感を感じることができ、そのことが今の自分のやりがいになっています。

▶ 壁の乗り越え方

生活保護に関する業務では、関係機関や医療分野など福祉分野ではない専門機関の方と関わることもあります。
立場の異なる関係者同士のため、本人への支援方針や、関わり方も様々であり、時には、お互いの意見の調整に難しさを感じることがあります。
また、ご本人や関係機関の方に、生活保護制度のことや支援方針を説明する際に、「どのように説明すれば、伝わりやすいかな」と悩むこともあります。
今は、上司や先輩方に相談し、「こう説明すれば、もっと分かってもらえるかもしれない」と考え、実践するようにしています！

▶ 研修について

大田区では、東京都や特別区職員研修所が実施している研修をはじめ、大田区が独自で行う研修、さらに生活福祉課の課内研修など、多様な研修を受講できます。
東京都や特別区職員研修所が行う研修で、制度の概要などを学んだうえで、大田区独自の研修で実務の知識を深めることができます。
また、大田区は、福祉職を対象とした研修もあり「同じ福祉職、同じ思いを持った職員がこれだけいるんだ」ということを実感できます。研修がきっかけで親睦が深まり、職場を超えて仕事の相談や悩みを共有することも大きな魅力です♪



名前：宇佐美さん
所属：糞谷・羽田地域福祉課（障害者地域支援担当）
採用年度：平成27年度



大田区の好きところは？
仕事終わりに銭湯に行くことができたり、美味しいお店が多いところですね！入庁したばかりの頃は、大田区の地域ごとの魅力に目を向ける余裕もなかったのですが、10年大田区で働くなかで、各地域の魅力に触れ、素敵なスポットやお店などがたくさんあることを知りました。まだまだ知らない地域もあり、長く働きたい人にもぴったりな区だと思います！

▶ ワークライフバランス

私は、現在、子育てをしています。やはり、仕事との両立は大変だなと思うことがあります。特に「福祉の仕事」は対人支援の割合が多く、「感情労働」とも言われます。時には心がすり減ってしまうこともあります。
私は、仕事での感情をあまり家庭には持ち込みたくないので、コントロールが難しいこともあるのですが、家庭で子育てに専念することで、仕事上での大変なことを忘れられることもあります。逆に、子育ての大変さを仕事で紛らわす…みたいなこともあるんですけどね。
また、仕事と子育てのバランスをとるために、時差出勤制度と部分休業制度をダブルで利用しています。

そのような働き方ができることも、職場の理解のおかげであり、本当に助かってます。

▶ これからのキャリアプラン

私はこれまで、子ども家庭支援センター、生活福祉課、地域福祉課を経験してきました。
どの職場でも、これまでの経験や知識といった、自分自身の「引き出し」を探り、考えながら、仕事をしています。
今後も、様々な分野を経験し福祉職として「引き出し」を増やしていきたいと思っています。

また、自分自身の身体と心が健康で、元気でないと、仕事にも影響が出てしまいます。そのため、頑張りが過ぎず、かといって手を抜くことはせず、仕事に向き合っていきたいです。

ここまで読んでくれてありがとうございます！
大田区に入庁した際には、あなたの話も聞かせてね！

